

令和3年度 研究部活動計画

1 研究主題について

令和4年度 第66回東北造形教育研究大会宮城大会
令和4年度 第68回宮城県造形教育研究大会仙台市大会
研究テーマ

夢・色・形 未来をつくりだす力をはぐくむ
～つくり つくりかえ つくる～

次年度開催予定の東北造形教育研究大会宮城大会、宮城県造形教育研究大会仙台市大会の研究テーマでは、子供たち一人一人の思ったこと・考えたこと・あらわしたいこと・主題や、そのイメージを「夢」とし、それを表現するために子供たちが試行錯誤し、それぞれの資質・能力を行ったり来たりさせながら表現していく様子を「つくり・つくりかえ・つくる」という言葉で表現している。鑑賞も新しい価値をつくりだす創造活動と捉えれば、作品を見ながら思いや考えを持つことを「つくる」、思いをめぐらせ、さらに想像を広げたり、新たなイメージを持ったりすることを「つくりかえる」と捉え、最後に、自分の考えをまとめることを2つ目の「つくる」で表している。

新学習指導要領では、「図工をとおして、自分自身をもつくりあげる」、「美術をとおしてはぐくまれる創造する力は、将来、新しい社会を創造する力へとつながる。」とあることから、夢＝イメージ、色（中学では色彩）、形の〔共通事項（知識）〕の3つの要素を扱いながら、将来、未来をつくりだしていく力の基礎を図工・美術の学びで培っていくことを研究テーマとしている。

以上の大会研究テーマを受けて、中学校の研究テーマを以下のように設定した。

令和4年度 第66回東北造形教育研究大会宮城大会
令和4年度 第68回宮城県造形教育研究大会仙台市大会
中学校研究テーマ（仮）

見る－想う－つくる 私たちの未来
～資質・能力を結びつけて～

この研究では、「様々な資質・能力を相互に関連させる働きかけ」を手立てとして、生徒たちの未来に生きる造形の力、ひいては未来をつくりだす力をはぐくんでいく授業づくりを探究していくものとする。

2 目指す授業づくり

新学習指導要領に即しながら、子供たちの未来に生きる造形の力、ひいては未来をつくりだす力をはぐくむために、子供たちが夢（イメージ）を持ち、色や形を考えながら、「表現」と「鑑賞」の資質・能力や、「発想や構想」と「創造的な技能」の資質・能力を相互に関連させながら（行ったり来たりさせながら）学習することのできる以下のような授業づくりを目指す。

(1) 主体的・対話的で深い学びのある授業

※新指導要領が完全実施となっていることから、これを意識することは当然となる。

(2) 資質・能力を相互に関連させる（行ったり来たりさせる）授業

①鑑賞と表現の行ったり来たり（「鑑賞」と「表現」の資質・能力が相互に関連する授業）

②発想・構想，創造的な技能の行ったり来たり（「発想や構想」と「創造的な技能の資質・能力を相互に関連する授業）

※これが（1）を実践する上での手立てとなると考えたい。

※この①②の考え方を①及び②，もしくは，①②の両方を一つの授業の指導過程に取り入れた授業。（提案する一授業の中に全てが盛り込まれる必要は無い。）この資質・能力の行ったり来たりは，必ずしも1授業中に全て見られなくても構わない。しかし，一題材の指導過程の中で見られるようにはしたいもの。

(3) 「ねらい」が明確で，授業の最後まで貫かれており，その「ねらい」が子供たちの言語活動のキーワードとなっている授業

(4) 言語活動の視点がねらいを達成するための「形・色（色彩）・イメージ〔共通事項（知識）〕」となっている授業

3 活動計画

| 月 日 | 会 議 | 主な内容 | 参加者 |
|-----------|--------|--|-------------------------|
| 6月24日（木） | 研究部会① | 令和4年度東北大会授業者と 目指す授業の確認 | 部会長，副部会長， 研究部長，予定授業者 |
| 8月26日（木） | 研究部会② | 令和4年度東北大会の指導案 検討 | 部会長，副部会長， 研究部員全員 |
| 9月16日（木） | 第2回定例会 | 令和4年度東北大会の開催上 の課題について 授業者と授業案の確認 | 全会員 |
| 11月 4日（木） | 第3回定例会 | 予定授業者の授業検討会 | 全会員 |

提案授業数4の予定

(1) 「発想や構想」 ↔ 「創造的な技能」

(2) ICT を使った授業

(3) 鑑賞 ↔ 表現 の授業

(4) 対話が必要となる授業（共同）